

テルナイト-BX

使用説明書

テルナイト-BXは、重金属を含まないリグナイト誘導体系を主成分とした分散剤です。

テルナイト-BXは、清水または海水をベースとした全ての水系泥水に使用でき、その使用範囲は、小坑径のワイヤーライン工法から大坑径のロータリー掘削工法までの広い分野で御利用いただけます。

また、塩分やセメント等の汚染物に対しても、優れた分散効果を示します。



株式会社 テルナイト

1.) テルナイト-BXの性状

外観	黒褐色微粉末
水分	10.0%以下
比重	1.50~1.55
pH (1%溶液)	8.7±0.2

2.) テルナイト-BXの特徴

- 1) 清水、海水のいずれをベースにしても安定性のある泥水を作る事ができます。
- 2) 140℃までの高温度に対しても優れた安定性を示します。
- 3) 粘性、イールドバリュー、ゲルストレングスを低く保つことができます。
- 4) 脱水量が少なく、薄くて強い泥壁ができます。
- 5) 分散性が高く、セメントや塩分等の汚染物質に対する抵抗力が優れています。
- 6) 有害な重金属類を含んでおらず、また作泥、調泥等の泥水管理が容易に行えます。

3.) テルナイト-BXの使用手法

1) テルナイト-BX泥水標準組成

清水	100ℓ
ベントナイト	7kg~10kg
テルナイト-BX	1kg~3kg
テルセローズ (CMC)	0.1~0.3kg
苛性ソーダまたはソーダ灰	0.3kg

2) テルナイト-BX泥水の標準性質

工法	ファンネル粘度 (sec)	比重	脱水量 (ml)	泥壁 (mm)	pH
ワイヤーライン	25~30	1.04~1.08	7以下	1以下	9.5~10.5
普通	30~40	1.05~1.10	7以下	1以下	9.5~10.5

4.) テルナイト-BX泥水の作泥、管理方法

- * テルナイト-BX泥水の作泥は、清水100ℓに対してベントナイト7kg~10kgを加えて充分攪拌（15~20分）し、膨潤させたものを使用します。
次にテルナイト-BXを1~3kg加え攪拌し、苛性ソーダまたはソーダ灰を加えてpHを9.5~10.5の範囲に調整して下さい。
- * テルナイト-BXは、分散剤ですので脱水減少作用は少なくBX泥水の脱水量を更に少なくしたい場合には、テルセローズ（TE-MS, TE-DS, TE-L）もしくはテルポリマー（9, 30, 30L）との併用をお勧めします。
テルセローズ、テルポリマーの添加量は各グレードによって異なりますが通常の場合、泥水100ℓに対して50~200g加えて下さい。
- * テルナイト-BX泥水は、各種の界面活性剤（マッドオイルD、テルーDD、スピダーP等）との併用もできます。潤滑性が高く、泥岩層掘削のさいには張り付きにくい泥水となります。
- * ソリッドコンテンツが高い場合、テルナイト-BXを加えても大きな分散効果は得られません。この場合、水割りやベントナイト溶液を加えてソリッドコンテンツを低くし、テルナイト-BXを添加して下さい。
- * テルナイト-BXの様な分散性の高い分散剤は、pHを9.5~10.5の範囲で調整して下さい。より安定性が増し分散効果の高い泥水となります。

5.) 荷 姿

クラフト袋入り

1袋20kg入り